

議長選挙にあたり、**就任を目指す所信の一端**を申し上げ、議員各位のご理解とご支援をお願いするものです。

私は本市議会に、長く籍を置かせていただいております。時代の経過と共に、議会の持つ雰囲気や特徴も少しずつ変化しているように感じています。よい面を伸ばしつつ、住民の期待に添えない部分は躊躇なく改革していく積極性を持つべきだと考えます。もちろん議会は、住民の声を代弁するとともに、立法府たる職責を果たすことが必用です。私は、公平性を保ちつつ、行政の監視役としての機能を果たすよう努力してきたつもりです。

私が最近、特に感じているのは、**議会の独立性を高める**必用があるという点です。とかく議会に対する住民の評価には厳しいものがあり、市長の施策に無批判であったり、行政の監視役を果たさない場合に「議会無用論」の形で現れます。

昨年の所信表明で、私は後期高齢者医療広域連合議会の一般質問について紹介をしました。3回の質問制限を設けながら3回目の質問要旨まで事前に問い合わせてくる事務局に異議を唱え、これを改善させたエピソードです。きちんと答弁すれば、質問は1回で終わるのです。あらかじめ3回分の質問答弁を用意すること自体がナンセンスであり、まるで学芸会のようなだと批判しました。これは決して人ごとではないということです。

本市議会でも、一般質問で「答弁書と違う」と発言した議員がいました。インターネットの掲示板には「職員に議会質問の原稿書いてもらってる議員がいる」などと書き込まれています。これらを耳にした市民からはシナリオどおりの質問答弁に落胆の声を聞きますし、これでは議会に緊張感は感じられないのも当然です。私は早急に、**議会自らが襟を正すべき**だと考えます。

1月臨時議会で可決した「競艇場施設改善工事の契約変更」を思い出してください。本来、契約変更は予期できなかった埋設物などにより工法の変更が余儀なくされる場合などを想定していますが、全く新しい工事を加えたり、グレードアップをはかるために、やむを得ない変更以外に9億円あまりを追加しました。しかも、その中には予

算が可決される前に工事が執行されているものまで含まれていたのです。これは違法な事務ですが、先日の経済委員会で、市は「間違った手法」とか「不適切」という言葉で説明しました。違法な行政執行に対する責任の取り方も、再発防止策も示されませんでした。

私はこの緊張感のなさこそが、蒲郡市議会の最大の弱点だと思います。議決も経ずに予算執行することがまかり通るなら、議会の権威は地に落ちたも同然です。そんな事態が起きているのに、議会が問題の追究をしないなら、議会はいりません。市民が求める議会の姿は、まったく異なったものだと考えます。少なくとも私が議員になった頃は議会に緊張感があり、問題が起きたときには与野党ともに執行部を厳しく質していたと感じています。

私が議長に就任することができたら、市民の期待に応える監視機能を持たせ、緊張感ある議会にしたいと考えます。まず、議員は自らの言葉で自らの意見を発言する議会にしたいと思います。基本的に、発言の原稿などを事務局等が作成することを禁じたいと思います。

また、議会の独立性を高めるために、市長部局との距離をきちんと取るようにしたいと考えます。議会事務局職員は市長の部下ではなく、議会のために働く議会の職員です。議長の命令で議会事務局長が部長会議に出席していると聞きますが、出席を命じず、必要に応じて双方が連絡しあう関係を保ちたいと思います。

議会の調査能力を高める必用も感じています。議員がただそうとしている課題を、市の担当部局に聞いて事前調査しては論戦の争点が筒抜けになり、質問の緊張感がなくなってしまいます。行政部局を通じずに調査できるだけの力を議会自体が持つようにしなければなりません。この点では、議事と庶務を中心とした事務局体制に調査を加え強化したいと考えます。

議会の緊張感を高めるという点では、反問権を認めるなど、いっそう分かりやすい論戦ができる環境を整える必要があります。議会基本条例についての議論も進んでいますが、条例制定を目的化してはなりません。合意できる改善をできるところから躊躇なくすすめて、平行して条例等の検討を進めるべきだと考えます。

今後は、[議会報告会](#)や[公聴会](#)などの情報発信と意見の収集をする機会を充実させる必要があります。休日や夜間の議会などを含め、住民参加を積極的にはかる方策も協議すべきだと思います。

[議員の資格](#)は、当選をしたときから対等平等であります。意見の違いを超えて、お互いを尊重しあう気風を大切にしたいと思います。民主的な議会運営のためには、協議を尽くし、安易に数の理論に偏重しないよう配慮することを原則とすべきだと考えます。議員間で自由闊達な政策議論や、論戦でのノウハウの交流ができる場をつくり、会派や経験を問わず議員がいっそうレベルアップできるようにしたいと思います。

私はこれまで、[法令を遵守し、常に公平な立場](#)で発言をしてきたつもりです。民主的な議会運営を通じて、蒲郡市議会が、市民から見ていっそう存在感のあるものになるよう努力をいたします。議員各位の信任をたまわりますようお願いし、所信表明といたします。